

県庁の温室効果ガス排出量の状況（令和4年度）

令和6年1月
環境森林課

1 温室効果ガス排出の状況

- 令和4年度の温室効果ガス排出量は 44,810 t-CO₂ でした。
- 前年度比で 15.3%の減少、平成25年度(基準年)比では 42.3%の減少 となりました。
- 前年度から排出量が減少した理由としては、主に電気の使用量を温室効果ガス排出量に換算する際に使用する係数（排出係数）が一部の所属において低下したことによるものです。
- 現在の第5期宮崎県庁地球温暖化対策実行計画における、令和7（2025）年度までに温室効果ガス排出量を平成25年度比37.4%削減するとの目標は達成しておりますが、引き続きのエネルギー使用量の削減に取り組んでまいります。

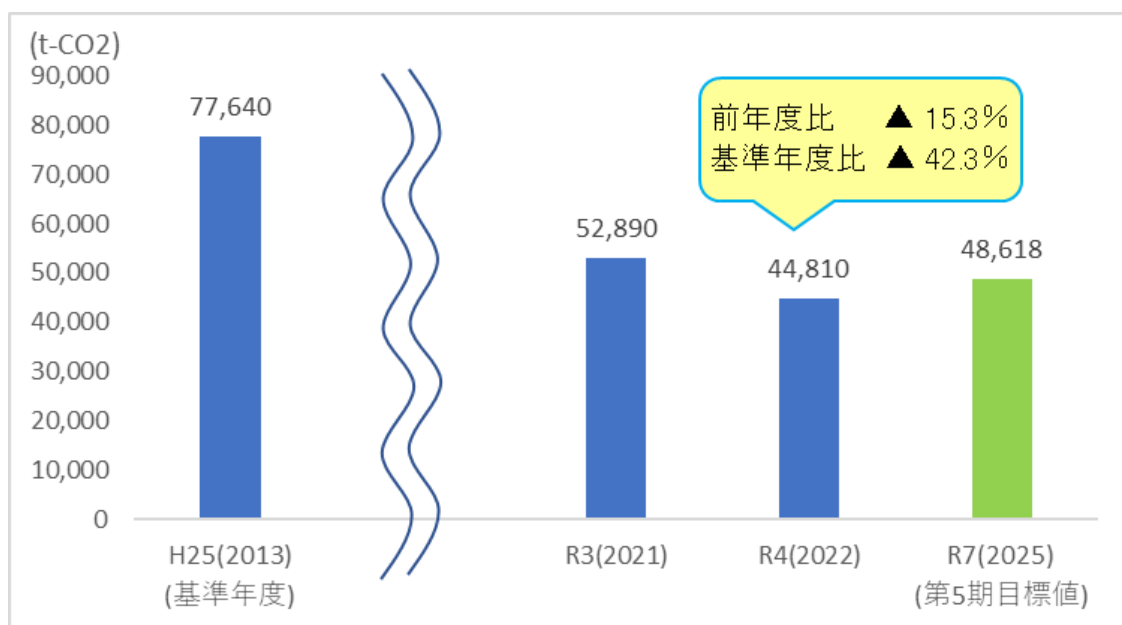


図1. 温室効果ガス排出量の推移

表1. 県庁の温室効果ガス排出量

	H25	R3	R4	R7(第5期目標)
排出量(t-CO ₂)	77,640	52,890	44,810	48,618
平成25年度比(%)	-	△ 31.9	△ 42.3	△ 37.4
前年度比(%)	-	-	△ 15.3	

2 部局別の温室効果ガス排出量及び割合（令和4年度）

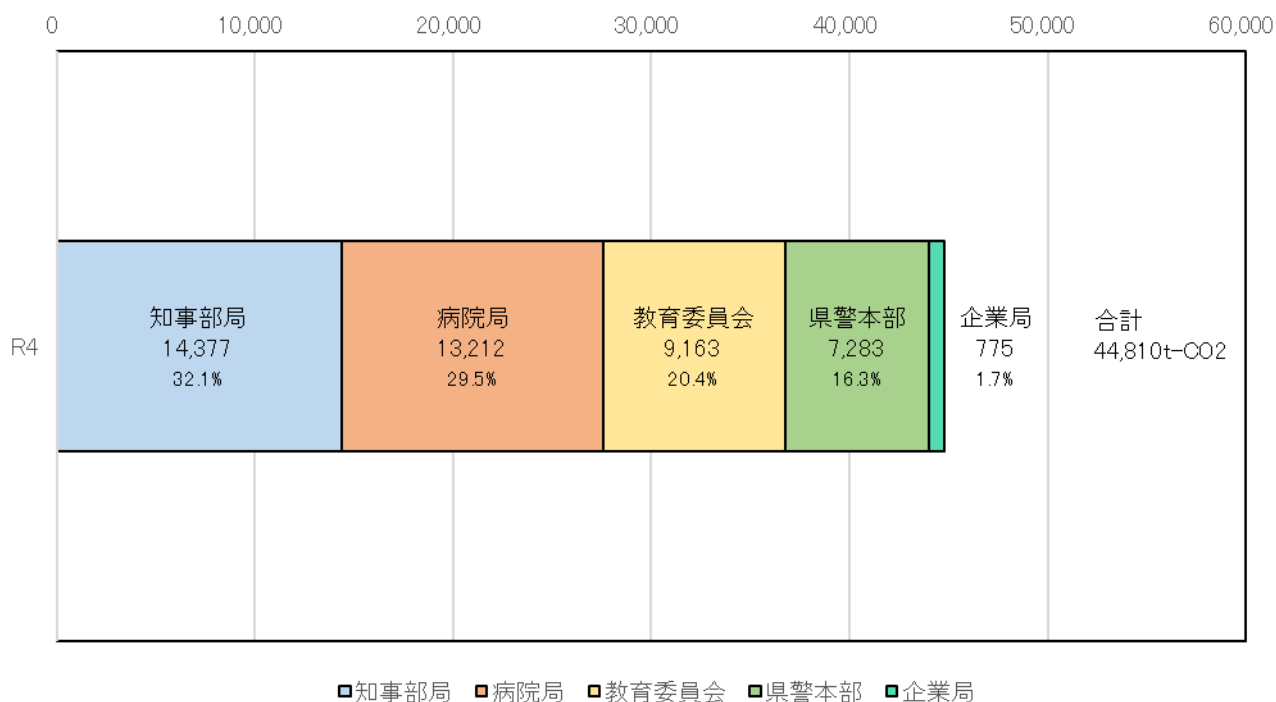


図2. 部局別の温室効果ガス排出量

3 温室効果ガス別内訳と二酸化炭素の燃料別内訳

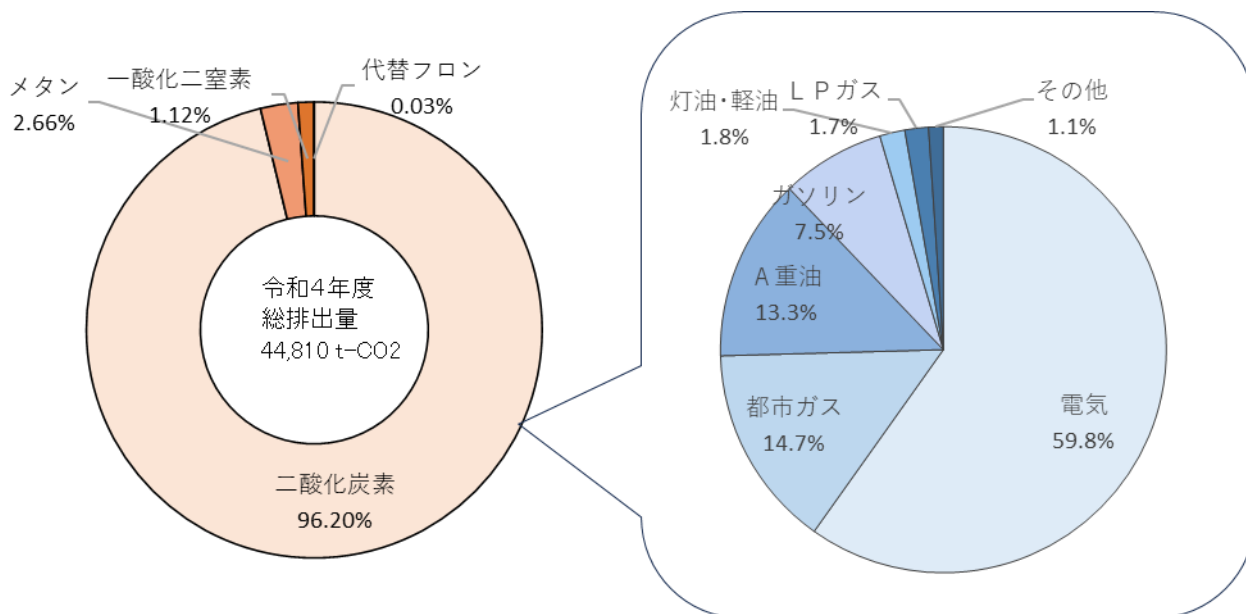


図3. 温室効果ガス別内訳(左)、二酸化炭素の燃料別内訳(右)

○温室効果ガス排出量のうち、二酸化炭素が全体の約96%を占めています。

○二酸化炭素排出量のうち、約60%が電気の使用に起因しています。

4 二酸化炭素排出量の推移

表2. 二酸化炭素排出量と増減率

	排出量(t-CO2)			増減	
	H25(基準)	R3	R4	H25比	前年度比
電 気	55,722	32,663	25,798	-53.7%	-21.0%
都市ガス	6,832	6,591	6,343	-7.2%	-3.8%
A 重 油	7,737	6,588	5,726	-26.0%	-13.1%
ガソリン	4,115	3,172	3,253	-21.0%	2.5%
LP ガ ス	422	733	736	74.5%	0.4%
灯 油	740	574	481	-35.1%	-16.3%
ジ ェ ッ ト	0	491	461		-6.2%
軽 油	618	360	309	-50.1%	-14.2%
計	76,186	51,172	43,106	-43.4%	-15.8%

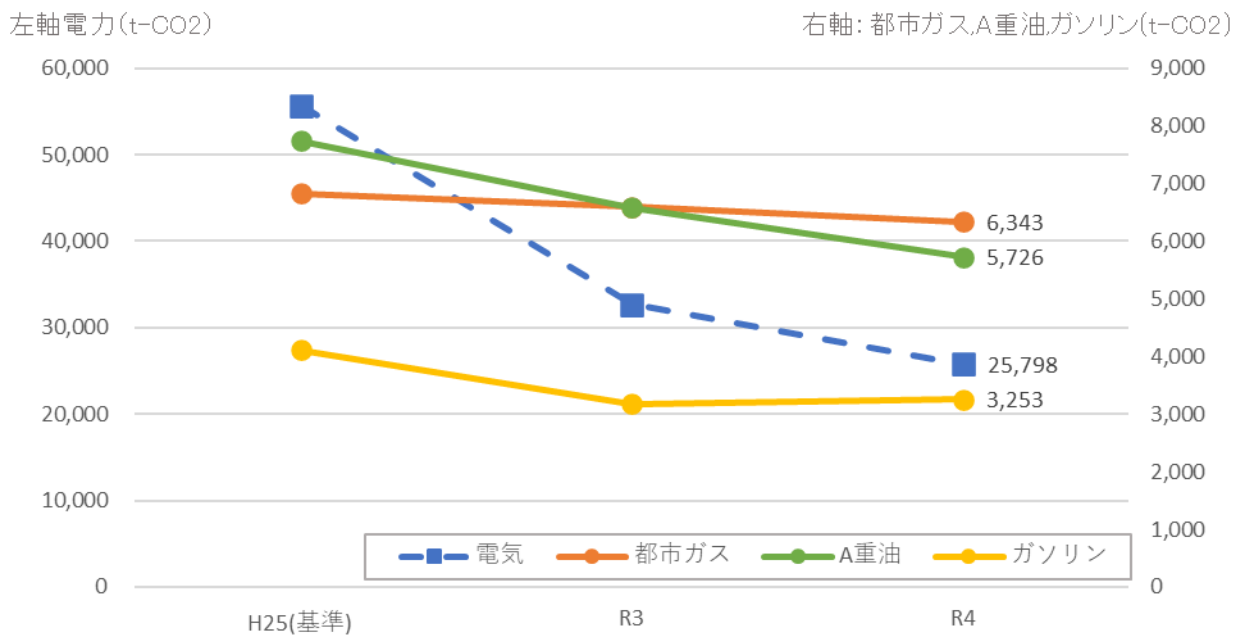


図4. 燃料別上位4種に由来する排出量の推移

- 主な燃料に由来する令和4年度の排出量を前年度と比較すると、電気、A重油、都市ガスは減少したものの、ガソリンは増加しました。